



松が谷中学校だより

<https://hachioji-school.ed.jp/mtgyj/>

令和7年12月26日

第3号

地域運営学校

八王子市立松が谷中学校

今年は創立50周年の記念すべき年でした

校長 川島 隆

50周年式典での式辞の抜粋を掲載します。

『私たちの松が谷中学校は、今から50年前の昭和51年に多摩ニュータウン地区に八王子市が最初に作った中学校です。この松が谷地区は地理的には、多摩市、日野市と隣接し、八王子市の東の玄関口といつてもよいでしょう。近隣の鹿島小学校、松が谷小学校も同時に開校し、明治時代からの長い歴史を誇る由木東小学校とともに、松が谷中学校は3つの小学校と共に歩みを始めました。児童数の増加により三本松小学校の開校や統合もありました。松が谷中学校も平成元年度に生徒数はピークを迎え、300人以上の学年もあり、生徒数が700人を超える時期が数年間続きました。最近の20年間は、生徒数が各学年100人前後で、各学年は3クラス、4クラスの人数を維持しているそうです。聞いております。近隣の幼稚園や保育園もほぼ同時期に開園し、子育て世代の新住民にとって、活気あふれる街づくりがスタートしたと思います。新しいライフスタイルを求め、日本各地から緑豊かな多摩ニュータウン地区へ若い世代の家族が集まりました。地域作りは0からのスタートであり、地域交流のための自治会活動や子供まつり等の企画で地域の基盤を築いてください、ありがとうございました。当時はまだモノレールも開通しておらず、多摩センター駅や聖蹟桜ヶ丘駅にバスで移動していたと聞いております。



で、各学年は3クラス、4クラスの人数を維持しているそうです。聞いております。近隣の幼稚園や保育園もほぼ同時期に開園し、子育て世代の新住民にとって、活気あふれる街づくりがスタートしたと思います。新しいライフスタイルを求め、日本各地から緑豊かな多摩ニュータウン地区へ若い世代の家族が集まりました。地域作りは0からのスタートであり、地域交流のための自治会活動や子供まつり等の企画で地域の基盤を築いてください、ありがとうございました。当時はまだモノレールも開通しておらず、多摩センター駅や聖蹟桜ヶ丘駅にバスで移動していたと聞いております。

ここに参列している私たち大人より、君たち中学生の方が残された時間は多くあります。この街の行く末をそれぞれの立場で思い描き、豊かなコミュニティを形成してほしいと思います。毎年毎年100名前後の仲間たちがこの松が谷中を巣立っていきます。人材は豊富です。家族も含めると3倍以上に膨れ上がります。君たちを温かく見守ってくれる人はたくさんいます。昨年度までの卒業生の総数は6779人となりました。松が谷中のことを誇りに思い、気にかけ、それぞれの道で活躍している人が700人近くいるのです。君たちもいずれその仲間入りとなります。どんな役割が自分にふさわしいか見極めて、地域の発展に大いに貢献してください。あとからあとから生まれ続く後輩たちの面倒もよろしくお願ひいたします。』（後略）

50年後の100周年の時は、君たちは60歳を越えています。それぞれの分野でまだ現役で活躍していることでしょう。皆で声を掛け合って、式典を盛り上げてください。近代的な校舎に生まれ変わっているかもしれません。母校の発展を祈りつつ健康な日々を過ごしてください。



3年生の皆さん



進路選択に向けて、不安で緊張が続く日々を過ごしていると思う
ますが、「冬来たりなば春遠からじ」です。もうすぐ春は来ます。葉
が散った木の枝をよく見てください。芽が膨らみかけています。も
う少しの辛抱です。つらい時こそ「自分らしさ」が見えてきます。
自問自答を繰り返しながら、自分をよく見つめ直してください。そ
して、同じ思いをしている仲間たちとの絆も強くなっていくはずで
す。お互いを高め合うような言葉かけや行動を心がけ、それぞれの
壁を乗り越えてください。



不登校をテーマとした保護者サロン

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。

講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日 時 令和8年2月24日(火)
午後2時から午後4時30分
3. 会 場 ハ王子市教育センター 大会議室
4. 内 容 講演 「不登校の子どもたちへの対応のヒント」
講師 ハ王子市心理相談員
5. 定 員 60名(先着順)
6. 受付開始日 令和8年 2月1日(日)
こちらの2次元コードからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/iapr/1380174>



7. 問合せ
高尾山学園内 教育指導課登校支援担当電話：663-3216

【おかしいなと思ったら…】

もし、自分が体罰や性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったなら、一人で悩んだりしないで、家族や先生、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に知らせて下さい。大人に話しつくい場合には、配布した「相談シート」に書かれている電話番号に連絡して下さい。、インターネットからも回答が可能です。

皆さんの心と体を大切に守りたいと思っています。是非、一人で悩まないで、知らせて下さい。

学校閉庁日です 【12月27日(土)～1月4日(日)】

緊急の事態が発生した場合は下記にご連絡をお願いします。

【連絡先】※平日 8:30～17:00 八王子市教育委員会学校教育部

電話 042-620-7323 (教育総務課) 042-620-7404 (教職員課)



松が谷中学校だより

<https://hachioji-school.ed.jp/mtgyj/>

令和7年12月26日

第3号

地域運営学校

八王子市立松が谷中学校

今年は創立50周年の記念すべき年でした

校長 川島 隆

50周年式典での式辞の抜粋を掲載します。

『私たちの松が谷中学校は、今から50年前の昭和51年に多摩ニュータウン地区に八王子市が最初に作った中学校です。この松が谷地区は地理的には、多摩市、日野市と隣接し、八王子市の東の玄関口といつてもよいでしょう。近隣の鹿島小学校、松が谷小学校も同時に開校し、明治時代からの長い歴史を誇る由木東小学校とともに、松が谷中学校は3つの小学校と共に歩みを始めました。児童数の増加により三本松小学校の開校や統合もありました。松が谷中学校も平成元年度に生徒数はピークを迎え、300人以上の学年もあり、生徒数が700人を超える時期が数年間続きました。最近の20年間は、生徒数が各学年100人前後で、各学年は3クラス、4クラスの人数を維持しているそうです。聞いております。近隣の幼稚園や保育園もほぼ同時期に開園し、子育て世代の新住民にとって、活気あふれる街づくりがスタートしたと思います。新しいライフスタイルを求め、日本各地から緑豊かな多摩ニュータウン地区へ若い世代の家族が集まりました。地域作りは0からのスタートであり、地域交流のための自治会活動や子供まつり等の企画で地域の基盤を築いてください、ありがとうございました。当時はまだモノレールも開通しておらず、多摩センター駅や聖蹟桜ヶ丘駅にバスで移動していたと聞いております。



で、各学年は3クラス、4クラスの人数を維持しているそうです。聞いております。近隣の幼稚園や保育園もほぼ同時期に開園し、子育て世代の新住民にとって、活気あふれる街づくりがスタートしたと思います。新しいライフスタイルを求め、日本各地から緑豊かな多摩ニュータウン地区へ若い世代の家族が集まりました。地域作りは0からのスタートであり、地域交流のための自治会活動や子供まつり等の企画で地域の基盤を築いてください、ありがとうございました。当時はまだモノレールも開通しておらず、多摩センター駅や聖蹟桜ヶ丘駅にバスで移動していたと聞いております。

ここに参列している私たち大人より、君たち中学生の方が残された時間は多くあります。この街の行く末をそれぞれの立場で思い描き、豊かなコミュニティを形成してほしいと思います。毎年毎年100名前後の仲間たちがこの松が谷中を巣立っていきます。人材は豊富です。家族も含めると3倍以上に膨れ上がります。君たちを温かく見守ってくれる人はたくさんいます。昨年度までの卒業生の総数は6779人となりました。松が谷中のことを誇りに思い、気にかけ、それぞれの道で活躍している人が700人近くいるのです。君たちもいずれその仲間入りとなります。どんな役割が自分にふさわしいか見極めて、地域の発展に大いに貢献してください。あとからあとから生まれ続く後輩たちの面倒もよろしくお願ひいたします。』（後略）

50年後の100周年の時は、君たちは60歳を越えています。それぞれの分野でまだ現役で活躍していることでしょう。皆で声を掛け合って、式典を盛り上げてください。近代的な校舎に生まれ変わっているかもしれません。母校の発展を祈りつつ健康な日々を過ごしてください。



3年生の皆さん



進路選択に向けて、不安で緊張が続く日々を過ごしていると思う
ますが、「冬来たりなば春遠からじ」です。もうすぐ春は来ます。葉
が散った木の枝をよく見てください。芽が膨らみかけています。も
う少しの辛抱です。つらい時こそ「自分らしさ」が見えてきます。
自問自答を繰り返しながら、自分をよく見つめ直してください。そ
して、同じ思いをしている仲間たちとの絆も強くなっていくはずで
す。お互いを高め合うような言葉かけや行動を心がけ、それぞれの
壁を乗り越えてください。



不登校をテーマとした保護者サロン

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。

講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日 時 令和8年2月24日（火）
午後2時から午後4時30分
3. 会 場 ハ王子市教育センター 大会議室
4. 内 容 講演 「不登校の子どもたちへの対応のヒント」
講師 ハ王子市心理相談員
5. 定 員 60名(先着順)
6. 受付開始日 令和8年 2月1日（日）
こちらの2次元コードからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/iapr/1380174>



7. 問合せ
高尾山学園内 教育指導課登校支援担当電話：663-3216

【おかしいなと思ったら…】

もし、自分が体罰や性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったなら、一人で悩んだりしないで、家族や先生、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に知らせて下さい。大人に話しにくい場合には、配布した「相談シート」に書かれている電話番号に連絡して下さい。、インターネットからも回答が可能です。

皆さんの心と体を大切に守りたいと思っています。是非、一人で悩まないで、知らせて下さい。

学校閉庁日です 【12月27日（土）～1月4日（日）】

緊急の事態が発生した場合は下記にご連絡をお願いします。

【連絡先】※平日 8:30～17:00 八王子市教育委員会学校教育部

電話 042-620-7323（教育総務課） 042-620-7404（教職員課）